

《最近の県内経済》 (2023年5月を中心として)

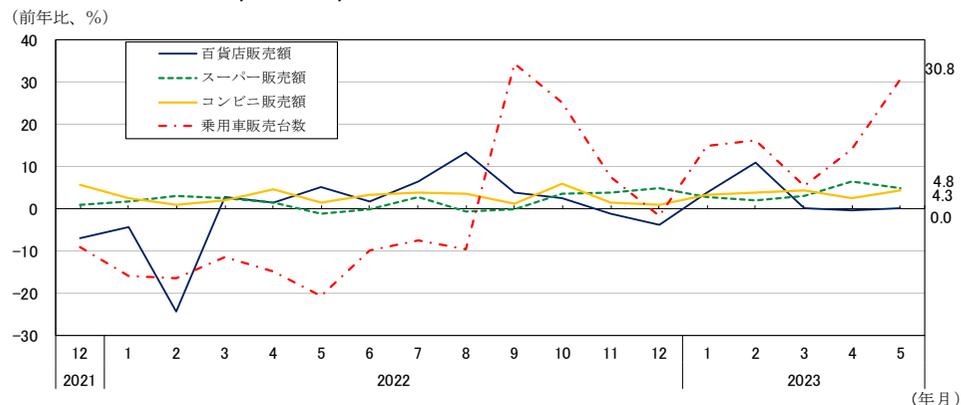
2023年7月31日

今月の概要

緩やかに持ち直している。

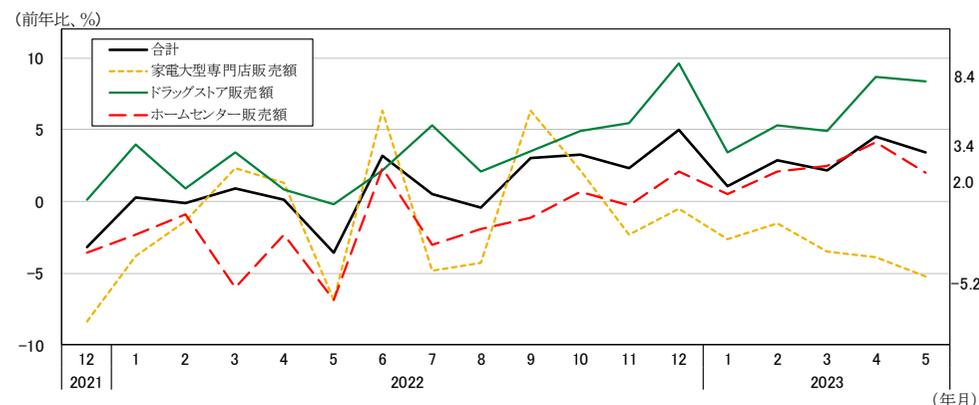
1 個人消費 ~持ち直している

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、持ち直している。

5月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店が120億円で前年比横ばい、スーパーは1,034億円で同4.8%増（8か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売は570億円で同4.3%増と19か月連続の増加となった。新型コロナ5類移行により人流が活発化し、インバウンド需要を含めた観光やイベントなどが回復してきている。

また、乗用車販売は、前年比30.8%増と5か月連続の増加となった。内訳をみると、普通車が同比52.9%増と4か月連続の増加、小型車が同比12.9%増と2か月連続の増加、軽乗用車が同比21.4%増と3か月ぶりの増加となった。新車の供給制約が徐々に解消され、受注分の納車が進んでいる。

5月の専門量販店販売額は、776億円で前年比3.4%増と9か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が174億円で同5.2%減（7か月連続の減少）、ドラッグストアが408億円で同8.4%増（12か月連続の増加）、ホームセンターが194億円で同2.0%増（6か月連続の増加）となった。

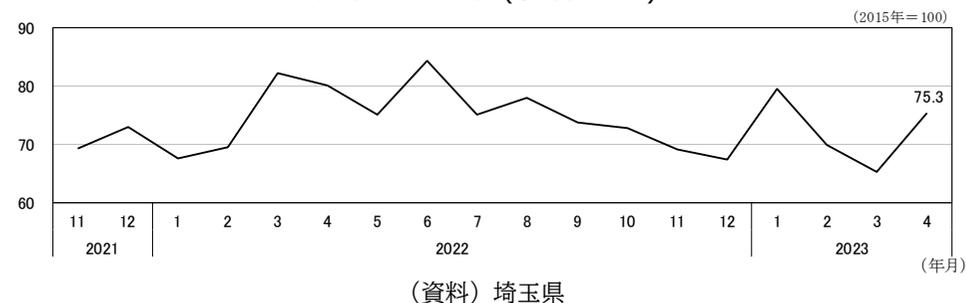
関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、4月〈36.2〉、5月〈37.2〉、6月〈37.7〉と改善している。

2 設備投資 ~持ち直している



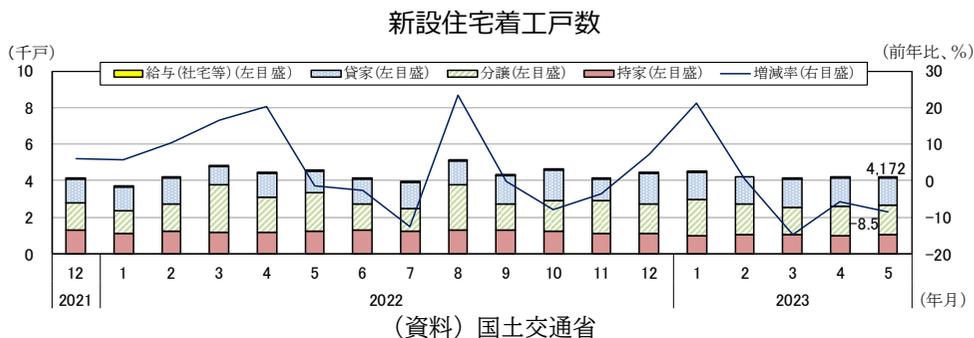
5月の民間建築着工床面積(非居住用)は、128千㎡で前年比39.1%減と2か月連続の減少となった。(5か月後方移動平均では前年比2.8%)用途別にみると、工場及び作業場、病院・診療所は増加したものの、事務所、店舗、倉庫がいずれも減少した。

資本財出荷指数(季節調整済)



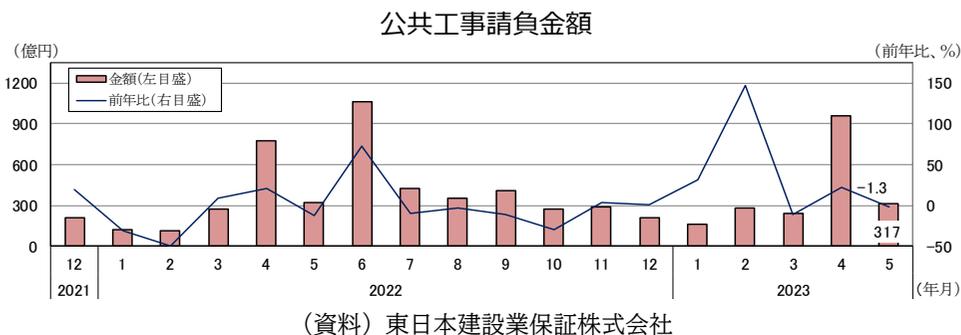
4月の資本財出荷指数(季節調整済)は75.3で、前月比15.1%増と3か月ぶりの増加となった(5か月後方移動平均では、前年比1.2%増)。

3 住宅建設 ~横ばいとなっている



5月の新設住宅着工戸数は、4,172戸で前年比8.5%減と3か月連続の減少となった(5か月後方移動平均でも2.5%減)。利用関係別にみると、貸家(1,451戸)が同21.5%増、分譲一戸建(1,189戸)が同横ばいとなったものの、持家(1,072戸)が同13.8%減、分譲マンション(421戸)が同50.9%減といずれも減少した。

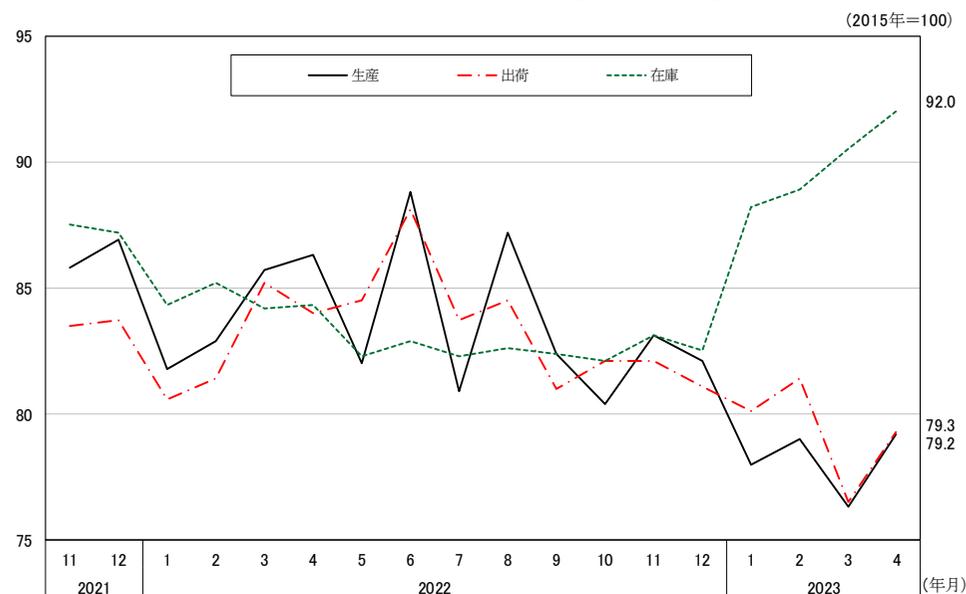
4 公共工事 ~横ばいとなっている



5月の公共工事請負額は317億円、前年比1.3%減となった(2か月ぶりの減少)。5か月後方移動平均では前年比21.5%増で推移。発注者別でみると、独立行政法人等、地方公社は減少したものの、国、市区町村はいずれも増加した。

5 生産活動～弱含んでいる

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



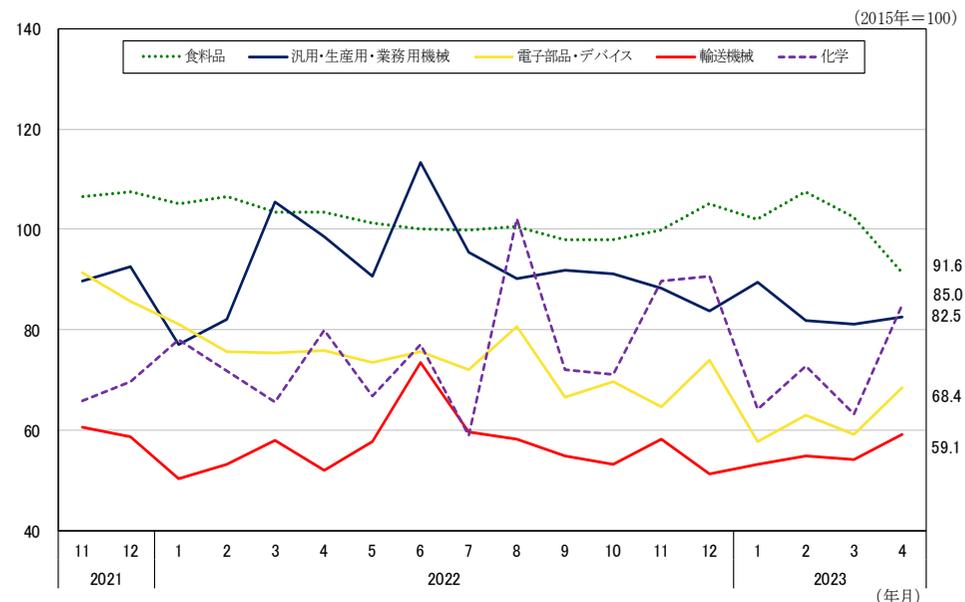
(資料) 埼玉県

4月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、79.2で前月比3.8%上昇した(2か月ぶりの上昇)。食料品(炭酸飲料、チョコレート)、金属製品(ばね、スチール製缶)などが低下したが、化学(医薬品、ウレタンフォーム)、情報通信機械(カーナビゲーション、カーオーディオ)などが上昇した。

出荷指数(同)は、79.3で同3.7%上昇(2か月ぶりの上昇)。食料品(炭酸飲料、チョコレート)、非鉄金属(アルミニウム圧延製品、通信用ケーブル光ファイバ製品)などが低下したが、生産用機械(半導体製造装置、研削盤)、化学(医薬品、ウレタンフォーム)などが上昇した。

在庫指数(同)は、92.0で同1.7%上昇した(4か月連続の上昇)。輸送機械(普通トラック、けん引車)、電子部品・デバイス(線形半導体集積回路、サーミスタ)などが低下したが、電気機械(食器洗い乾燥機、クッキングヒーター)、パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙、雑板紙)などが上昇した。

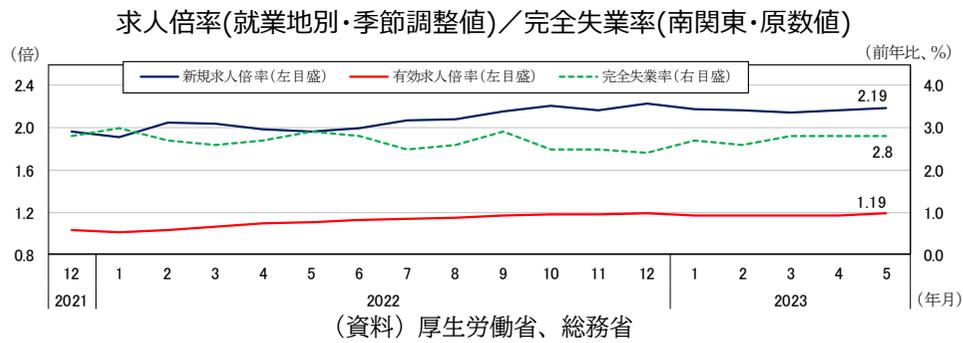
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

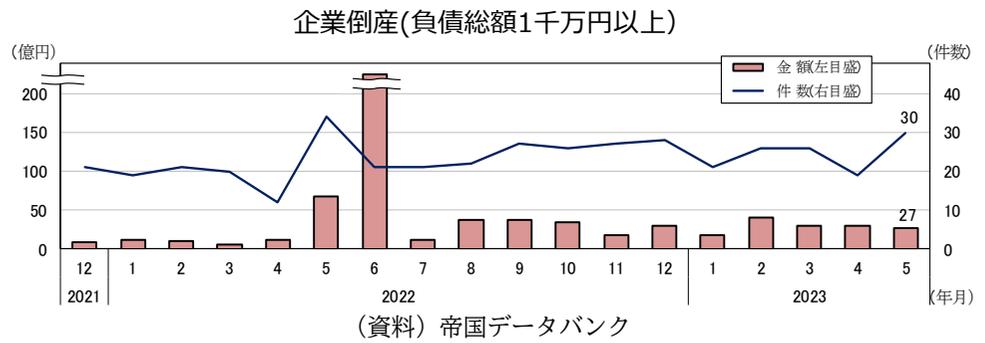
- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、91.6で前月比10.5%低下、2か月連続の低下となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、82.5で同1.7%上昇、3か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、68.4で同15.5%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、59.1で同9.2%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 化学(同)は、85.0で同34.7%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

6 雇用情勢 ~穏やかに持ち直している



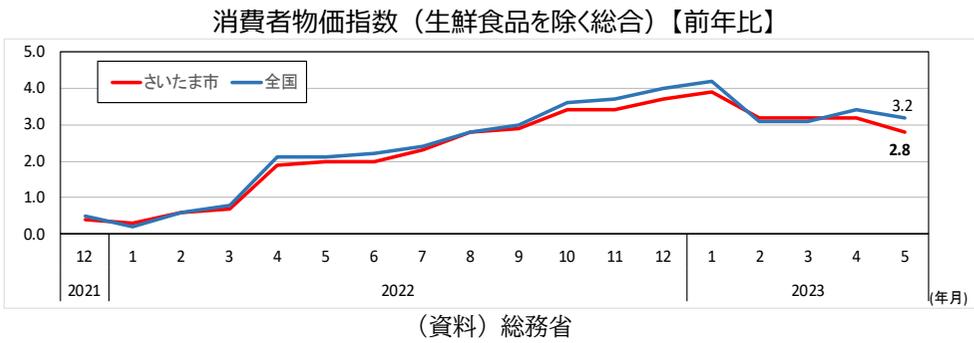
5月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.19倍で前月比0.02ポイント上昇した(5か月ぶりの上昇)。また、新規求人倍率(同)は、2.19倍で前月比0.02ポイント上昇した(2か月連続の上昇)。
完全失業率(南関東、原数値)は、2.8%で前年同月比横ばいとなった。

7 企業倒産 ~増加傾向にある



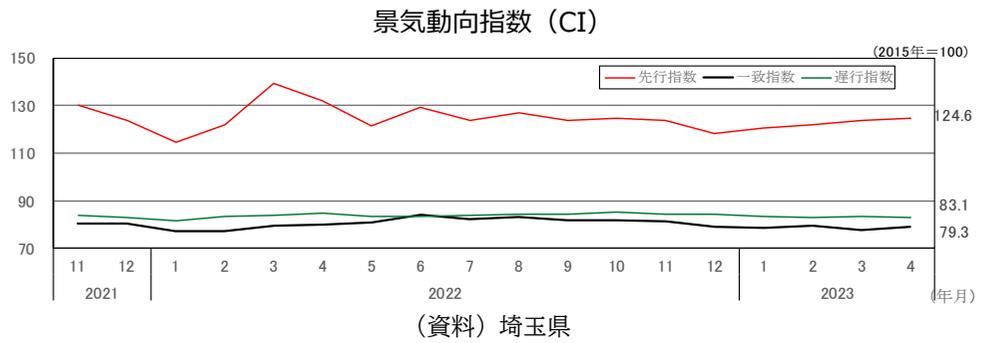
5月の企業倒産件数は、30件で前年同月比4件の減少となった。負債総額は27億円で同40億円の減少となった。(5か月後方移動平均では、件数は前年比15.1%増、金額は37.5%増)。
業種別にみると、建設業が最多で8件。次いで製造業が7件、サービス業が5件と続いている。主因別では、販売不振が27件となっている。

8 消費者物価 ~上昇率がやや鈍化している



5月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、前年同月比2.8%上昇した。食料(調理食品や乳卵類)、教養娯楽(主に旅行代金等)等の上昇が全体を押し上げている。

〈参考〉景気動向指数(CI) ~下方への局面変化を示している



- 4月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、79.3で前月比1.4ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、124.6で同0.9ポイント上昇し、4か月連続の上昇となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、83.1で同0.3ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。